

「あいさつ」について

221114

「あいさつ」というのは、その人のことを大切に思う気持ち、そのものです。だからこそ、離れた距離でも、相手が気づいていない状況でも、あいさつをするということは、それだけ相手の存在を大事に思っているという証となり、それが相手に伝わり、逆に相手から大切にしてもらえらることになって返ってくるのだと思います。

目の前にいる人にも、通り過ぎていく人にも、気づいていないかもしれない人にも、そして遠くを歩いている人にも、「私は、あなたに気づいていますよ」「あなたのことが大事ですよ。」というメッセージを伝えることのできる「あいさつ」。そんな「あいさつ」を大事にしたいなと私自身、強く思っています。

先日の地域の方をお招きした会議では、中学生からあいさつをされるとすごく嬉しい、元気になれると言ってみえました。幸中生同士だけでなく、学校におみえになるお客さんに対して、自然なあいさつを交わしたり、登下校時に立ち番をしてくださったり、すれ違ったりする地域の方にも、幸中生から積極的にあいさつが交わされることを願っています。それが、幸中生が地域の方にとって身近な存在となり、幸中生が地域に貢献できる一番手っ取り早くできることだと思います。ぜひ、心掛けてみてください。